



## 安全データシート

### UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

JIS Z 7253 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート ( SDS )」に準拠

#### 1: 化学品及び会社情報

##### 製品特定名

製品名 UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

製品番号 MCC-UFR10A, MCC-UFR10Y

##### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 洗浄剤。

##### 安全データシートの供給者の詳細

供給者 MICROCARE ASIA PTE LTD  
102E, Pasir Panjang Road,  
Citilink, #05-06,  
Singapore 118529  
(65) 6271.0182  
techsupport@microcare.com

製造者 MICROCARE LLC  
595 John Downey Drive  
New Britain, CT 06051  
United States of America  
CAGE: OATV9  
Tel: +1 800-638-0125, +1 860-827-0626  
techsupport@microcare.com

##### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 INFOTRAC +81 3-6388-0366 (JAPAN)  
1-352-323-3500 (from anywhere in the world)

#### 2: 危険有害性の要約

##### 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 区分外

環境有害性 水生環境有害性 ( 長期間 ) 区分3 - H412

健康有害性 長期にわたりまたは反復して皮膚に接触すると刺激、発赤および皮膚炎を引き起こすおそれがある。軽度の皮膚炎、アレルギー性皮膚発疹。

環境有害性 製品は水生生物に対して有害かつ水生環境中で長期継続的悪影響を引き起こすおそれのある物質を含む。

物理化学的危険性 蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。使用量は少量なので重大な危険有害性であるとは考えられない。ガスまたは蒸気は呼吸に必要な酸素に置き換わる ( 窒息剤 ) 。

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

**GHS ラベル要素****危険有害性情報**

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

**注意書き**

P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P410+P412 日光から遮断すること。50°C/122°F以上以上の温度にばく露しないこと。

P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

**補足的なラベル情報**

EUH210 安全データシートは要望に応じて入手可能です。RCH001a 産業設備での使用のみ。

**他の危険有害性**

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

**3 : 組成及び成分情報****混合物**

トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene) CAS番号: 102687-65-0	60-100%
<b>分類</b> 高圧ガス 液化ガス - H280 水生環境有害性 (長期間) 区分3 - H412	
TRANS-1,3,3,3-テトラフルオロプロパ-1-エン (TRANS-1,3,3,3-TETRAFLUOROPROP-1-ENE) CAS番号: 29118-24-9	10-30%
<b>分類</b> 高圧ガス 液化ガス - H280	
エタノール (ETHANOL) CAS番号: 64-17-5	1-5%
<b>分類</b> 引火性液体 区分2 - H225	
メタノール (METHANOL) CAS番号: 67-56-1	<1%
<b>分類</b> 引火性液体 区分2 - H225 急性毒性 区分3 - H301 急性毒性 区分3 - H311 急性毒性 区分3 - H331 眼に対する重篤な刺激性 区分2A - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分1 - H370	

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

ISOBUTYL METHYL KETONE	<1%
CAS番号: 108-10-1	
<b>分類</b> 引火性液体 区分2 - H225 急性毒性 区分4 - H332 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335	
ETHYL ACETATE	<1%
CAS番号: 141-78-6	
<b>分類</b> 引火性液体 区分2 - H225 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

**組成に関する注釈** 組成物の正確な割合 (濃度) は、CFR 1900.1200の段落 (i) に従って営業秘密として保留されている

## Composition

## 4: 応急措置

応急措置の説明

<b>一般情報</b>	被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。意識を喪失した者は横向きの回復体位に寝かせ、呼吸ができることを確認する。呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこと。医師に具体的な診断を求めること。
<b>吸入</b>	被災者を汚染源から移動させること。被災者を空気の新鮮な場所に移動して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な場合には適切な訓練を受けた人員が酸素投与を行って被災者を補助してもよい。医師の手当てを受けること。
<b>経口摂取</b>	無理に吐かせないこと。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。飲み込んだ化学物質を希釈するために直ちに被災者に多量の水を飲ませること。医師の手当てを受けること。
<b>皮膚接触</b>	汚染された衣類を取り除き、皮膚を水で十分に洗うこと。
<b>眼接触</b>	コンタクトレンズがあれば取り外し眼を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けること。医師に具体的な診断を求めること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

<b>一般情報</b>	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。洗った後に症状が出た場合には直ちに医師の手当てを受けること。
<b>吸入</b>	上気道刺激。蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。ガスまたは蒸気は呼吸に必要な酸素に置き換わる (窒息剤)。Une inhalation prolongée ou excessive peut irriter les voies respiratoires.
<b>経口摂取</b>	胃痛または嘔吐を引き起こすおそれがある。下痢。吐き気、頭痛、めまいおよび中毒を引き起こすおそれがある。胃の内容物からのフュームを吸入し、吸入した場合と同じ症状を招くことがある。

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

**皮膚接触** 皮膚刺激。この製品は皮膚から急速に吸収されて経口摂取した場合と似た症状を引き起こすおそれがある。

**眼接触** 眼を刺激する。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：発赤。痛み。視力障害および重篤な眼損傷を引き起こすおそれがある。

### 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

**医師に対する特別な注意事項** 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

## 5：火災時の措置

### 消火剤

**適切な消火剤** 製品は可燃性/引火性でない。周辺火災に適した消火剤を使用すること。

### 化学品から生じる特定の危険有害性

**特有の危険有害性** 熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。過剰圧力蓄積のため、エアゾール容器は加熱されると激しく破裂することがある。

**有害燃焼副産物** 熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。炭素酸化物。火災または高温は以下を生成する：カルボニル化合物。鉱酸。

### 消火を行う者の保護

**消火活動中の保護措置** リスクを伴わずに対処できるなら容器を火災区域から移動させること。破裂したエアゾール容器が火災現場から高速で飛び出してくるおそれがある。

**消火を行う者を保護するための特別な保護具** 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

## 6：漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

**人体に対する注意事項** 潜在的危険有害性について全員に警告し、必要に応じ避難させる。適切に換気すること。蒸気の吸入を避けること。空気汚染が許容レベルを越える場合には承認を受けた呼吸マスクを使用すること。

### 環境に対する注意事項

**環境に対する注意事項** 砂、土またはその他の適切な不燃材料で流出を封じ込めること。環境への放出を避ける。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

**浄化方法** 適切に換気すること。砂、土またはその他の適切な不燃材料で流出を封じ込めること。流出物または流去水が排水管、下水道または水路に入るのを防止すること。必要に応じて、手袋、ゴーグル/保護面、呼吸マスク、長靴、保護衣またはエプロンを含む、適切な保護具を着用すること。すべての点火源を排除すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。適切に換気すること。不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。

### 他の項目の参照

**他の項目の参照** 個人保護具については、項目8を参照。廃棄物処理に関してはポイント13を参照。

## 7：取扱い及び保管上の注意

### 安全な取扱いのための予防措置

**使用上の予防措置** 適切に換気すること。蒸気/スプレーの吸入と皮膚および眼との接触を避けること。熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。子供の手の届かない場所に保管する。

### 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

**保管上の予防措置** エアゾール缶: 直射日光または 50°C 以上の温度に暴露してはならない。

### 特定最終用途

**特定最終用途** この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

**Reference to other sections.** 混触危険物質 (項目10を参照) から遠ざけて保管すること。

## 8: ばく露防止及び保護措置

### 管理パラメーター

#### 職業ばく露限界値

トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 800 ppm

メタノール (METHANOL)

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 200 ppm 260 mg/m<sup>3</sup>

皮

ISOBUTYL METHYL KETONE

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 50 ppm 200 mg/m<sup>3</sup>

ETHYL ACETATE

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 200 ppm 720 mg/m<sup>3</sup>

皮 = 経皮的に吸収されることがある

トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene) (CAS: 102687-65-0)

**成分に関する注釈** 成分に対する暴露限界値は知られていない。

### ばく露防止

#### 保護具



#### 適切な設備対策

特定の換気装置は必要でない。この製品は適切な換気のない密閉空間内では決して取り扱ってはならない。

#### 眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。リスク評価によりより高度な保護の必要性が指摘された場合を除き、以下の保護具を着用しなければならない: 顔面に密着する安全眼鏡。

#### 手の保護

リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手袋は次の材料で作られていることが推奨される: ニトリルゴム。ポリビニルアルコール (PVA)。ビトンゴム (フッ素ゴム)。

#### その他の皮膚及び身体の保護

飛沫または汚染に対する保護に適した保護衣を着用すること。接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

#### 衛生措置

特別な衛生基準は推奨されていないが化学製品を取り扱う際には常に優良個人衛生基準を遵守しなければならない。取扱中は飲食禁止および禁煙。

#### 呼吸器の保護

包装のサイズを考慮すると、リスクは微小と見なされる。蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。密閉空間内または換気が悪い空間内では、必ず送気式呼吸マスクを着用しなければならない。フルフェースマスクを備えた自給式呼吸装置を着用すること。

## 9: 物理的及び化学的性質

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	エアゾール。液体。気体
色	透明な液体。無色。
臭い	かすかな臭い。
臭いの閾値	情報得られず。
pH	該当しない。
融点	該当しない。
初留点及び沸騰範囲	19°C/66°F @ 101.3 kPa
引火点	該当しない。製品は可燃性/引火性でない。
蒸発速度	決定されていない。
蒸発係数	情報得られず。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	該当しない。
その他の燃焼性	情報得られず。
蒸気圧	1.91 kPa @ 20°C
蒸気密度	>1
相対密度	1.24
バルク密度	情報得られず。
溶解度	水にわずかに溶解性。
分配係数	情報得られず。
自己発火温度	情報得られず。
分解温度	情報得られず。
粘度	情報得られず。
Global Warming Potential (GWP)	
Surface tension	
屈折率	情報得られず。
粒径	情報得られず。
分子量	情報得られず。
揮発性	100%
飽和濃度	情報得られず。
臨界温度	情報得られず。
揮発性有機化合物	この製品は最大含有量59g/litreのVOCを含んでいる。
Heat of vaporization (at boiling point), cal/g (Btu/lb)	

### 10 : 安定性及び反応性

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

反応性	この製品に関連する反応危険有害性は知られていない。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	重合しない。
避けるべき条件	熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。
混触危険物質	アルカリ金属。アルカリ土類金属。
危険有害な分解生成物	加熱すると次の生成物を生じるおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。ハロゲン化炭化水素。フッ化水素 ( HF )。二酸化炭素 ( CO <sub>2</sub> )。一酸化炭素 ( CO )。

### 11：有害性情報

#### 有害性情報

その他の健康影響	製品が発がん性である可能性を示す証拠はない。
<u>急性毒性 - 経口</u>	
急性経口毒性推定値 ( ATE ) ( mg/kg )	50,384.18
<u>急性毒性 - 経皮</u>	
急性経皮毒性推定値 ( ATE ) ( mg/kg )	151,152.54
<u>急性毒性 - 吸入</u>	
急性吸入毒性推定値 ( ATE ) ( 蒸気mg/l )	1,511.53
急性吸入毒性推定値 ( ATE ) ( 粉じん/ミスト mg/l )	251.92
吸入	蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：咳。呼吸困難。
経口摂取	胃痛または嘔吐を引き起こすおそれがある。吐き気、頭痛、めまいおよび中毒を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	製品は皮膚に脱脂影響を及ぼす。アレルギー性接触湿疹を引き起こすおそれがある。
眼接触	一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。
医学的症候	高濃度のガスまたは蒸気は呼吸器系を刺激するおそれがある。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：頭痛。疲労。吐き気、嘔吐。

#### 成分に関する毒性学的情報

##### トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

#### 急性毒性 - 経口

備考 ( 経口LD<sub>50</sub> ) No information available.

#### 急性毒性 - 経皮

備考 ( 経皮LD<sub>50</sub> ) 情報は要求されていない。

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

### 急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性 (LC<sub>50</sub>気体 ppmV) 120,000.0

生物種 ラット

急性吸入毒性推定値 (ATE) (気体ppmV) 120,000.0

**吸入** 蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：咳。呼吸困難。

**経口摂取** 胃痛または嘔吐を引き起こすおそれがある。吐き気、頭痛、めまいおよび中毒を引き起こすおそれがある。

**皮膚接触** 製品は皮膚に脱脂影響を及ぼす。アレルギー性接触湿疹を引き起こすおそれがある。

**眼接触** 一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。

**医学的症状** 高濃度のガスまたは蒸気は呼吸器系を刺激するおそれがある。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：頭痛。疲労。吐き気、嘔吐。

### TRANS-1,3,3,3-テトラフルオロプロパ-1-エン (TRANS-1,3,3,3-TETRAFLUOROPROP-1-ENE)

#### 急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性 (LC<sub>50</sub>蒸気 mg/l) 965.0

生物種 ラット

急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l) 965.0

### エタノール (ETHANOL)

#### 急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性 (LC<sub>50</sub>蒸気 mg/l) 20,000.0

急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l) 20,000.0

### メタノール (METHANOL)

#### 急性毒性 - 経口

備考 (経口LD<sub>50</sub>) 急性毒性 区分3 - H301 飲み込むと有毒である。

急性経口毒性推定値 (ATE) (mg/kg) 100.0

#### 急性毒性 - 経皮

備考 (経皮LD<sub>50</sub>) 急性毒性 区分3 - H311 皮膚に接触すると有毒である。

急性経皮毒性推定値 (ATE) (mg/kg) 300.0

#### 急性毒性 - 吸入



## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

備考 (吸入LC <sub>50</sub> )	急性毒性 区分3 - H331 吸入すると有毒。
急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l)	3.0
急性吸入毒性推定値 (ATE) (粉じん/ミスト mg/l)	0.5
<b>皮膚腐食性 / 刺激性</b>	
動物データ	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<b>眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性</b>	
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<b>呼吸器感作性</b>	
呼吸器感作性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<b>皮膚感作性</b>	
皮膚感作性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<b>生殖細胞変異原性</b>	
遺伝毒性 - in vitro	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<b>発がん性</b>	
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
IARC発がん性	どの成分も記載されておらず免除もされていない。
<b>生殖毒性</b>	
生殖毒性 - 生殖能	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
生殖毒性 - 発生	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<b>特定標的臓器毒性 - 単回ばく露</b>	
特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露	特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分1 - H370 臓器への障害。
<b>特定標的臓器毒性 - 反復ばく露</b>	
特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露	反復暴露後の特定標的臓器毒性物質に分類されない。
<b>吸引性呼吸器有害性</b>	
吸引性呼吸器有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<b>一般情報</b>	
一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さ依存して変化する。
吸入	単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：眠気、仮性めまい、見当識障害、真性めまい。意識喪失 高濃度は生命に危険のおそれがある。
経口摂取	胃痛または嘔吐を引き起こすおそれがある。重篤な内部損傷を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：痛み。
眼接触	特定の症状は知られていない。

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

**ばく露経路** 経口摂取 吸入 皮膚および/または眼との接触

**標的臓器** 特有の特定標的臓器は知られていない。

### ISOBUTYL METHYL KETONE

#### 発がん性

**IARC発がん性** IARC グループ2B ヒトに対する発がん性が疑われる。

### 12: 環境影響情報

**生態毒性** この製品の生態毒性についてのデータは無い。

#### 成分に関する生態学的情報

##### トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

**生態毒性** 製品は水生生物に毒性で長期継続的影響により水生生物に悪影響を生じるおそれのある物質を含んでいる。

##### メタノール (METHANOL)

**生態毒性** 環境に危険であるとは考えられない。しかしながら、大量または頻繁な流出は環境に対して危険有害性影響を及ぼすおそれがある。

#### 成分に関する生態学的情報

##### トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

#### 急性水生毒性

**急性毒性 - 魚類** , : , Oncorhynchus mykiss ( ニジマス )  
LC<sub>50</sub>, 96 hours: 38 mg/l mg/l, 魚類

**急性毒性 - 水生無脊椎動物** EC<sub>50</sub>, 48 時間: 82 mg/l, 淡水無脊椎動物

**急性毒性 - 水生植物** EC<sub>50</sub>, 72 時間: 106.7 mg/l, 淡水藻類  
無影響濃度 ( NOEC ) , 72 時間: 115 mg/l, 淡水藻類

##### TRANS-1,3,3,3-テトラフルオロプロパ-1-エン (TRANS-1,3,3,3-TETRAFLUOROPROP-1-ENE)

#### 急性水生毒性

**急性毒性 - 水生無脊椎動物** EC<sub>50</sub>, 48 hours: >160 mg/l, Daphnia magna ( オオミジンコ )

##### エタノール (ETHANOL)

#### 急性水生毒性

**急性毒性 - 魚類** LC<sub>50</sub>, 96 hours: >10,000 mg/l, 魚類

**急性毒性 - 水生無脊椎動物** EC<sub>50</sub>, 48 hours: 7,800 mg/l, Daphnia magna ( オオミジンコ )

**急性毒性 - 水生植物** , 96 時間: 1000 mg/l, 淡水藻類

##### メタノール (METHANOL)

**毒性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

#### 急性水生毒性

**急性毒性 - 魚類** LC<sub>50</sub>, 96 hours: >100 mg/l, Pimephales promelas ( ファットヘッドミノー )

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

急性毒性 - 水生無脊椎動物 EC<sub>50</sub>, 48 時間: >10000 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

### 残留性・分解性

残留性・分解性 この製品の分解性についてのデータは無い。

### 成分に関する生態学的情報

#### トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

残留性・分解性 製品は易生物分解性でない。

#### TRANS-1,3,3,3-テトラフルオロプロパ-1-エン (TRANS-1,3,3,3-TETRAFLUOROPROP-1-ENE)

残留性・分解性 製品は易生物分解性でない。

#### エタノール (ETHANOL)

残留性・分解性 製品は生物分解性であると予想される。

#### メタノール (METHANOL)

残留性・分解性 製品の分解性は未知である。

### 生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

分配係数 情報得られず。

### 成分に関する生態学的情報

#### トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

分配係数 Kow: 2.09

#### エタノール (ETHANOL)

生体蓄積性 生体蓄積する可能性は低い。

分配係数 情報得られず。

#### メタノール (METHANOL)

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

分配係数 :-0.77

### 土壤中の移動性

移動性 製品は大気中に広がるおそれのある揮発性物質を含む。

### 成分に関する生態学的情報

#### トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

移動性 データなし。

#### エタノール (ETHANOL)

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

移動性 製品は水に溶解する。

メタノール (METHANOL)

移動性 データなし。

他の有害影響

他の有害影響 製品は、光化学オゾンを生成する可能性のある物質を含む。

成分に関する生態学的情報トランス-1-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペン (trans-1-Chloro-3,3,3-trifluoropropene)

他の有害影響 知られていない。

メタノール (METHANOL)

他の有害影響 知られていない。

**13: 廃棄上の注意**廃棄上の注意

## 一般情報

廃棄物は規制された廃棄物として取り扱わなければならない。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

## 廃棄方法

現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。爆発のリスクがあるので空容器は決して穴開けしたり焼却したりしてはならない。過剰圧力蓄積のため、エアゾール容器は加熱されると激しく破裂することがある。可能ならば製品を再使用または再利用すること。

**14: 輸送上の注意**国連番号

国連番号 (道路輸送/鉄道輸送) 1950

国連番号 (IMDG) 1950

国連番号 (ICAO) 1950

品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) AEROSOLS

品名 (国連輸送名) (IMDG) AEROSOLS

品名 (国連輸送名) (ICAO) AEROSOLS

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

道路輸送/鉄道輸送クラス 2.2

道路輸送/鉄道輸送分類コード 5A,50

道路輸送/鉄道輸送ラベル 2.2

IMDGクラス 2.2

ICAOクラス / 区分 2.2

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

## 輸送ラベル



## 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級 None

IMDG容器等級 None

ICAO容器等級 None

## 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質  
該当せず。

## 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 (EmS) F-D, S-U

MARPOL73/78 附属書II及び  
IBCコードによるばら積み輸  
送 該当しない。

## 15: 適用法令

## 該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

指針 Workplace Exposure Limits EH40.  
Introduction to Local Exhaust Ventilation HS(G)37.

## インベントリー

## 16: その他の情報

改訂に関する注釈 備考: 余白中の線は以前の版からの重大な変更を示している。

改訂日 2021/06/01

改訂版 43

更新日 2021/05/21

SDS番号 AEROSOL - UFR10A

SDSの現状 承認済み。

危険有害性情報の全文

H225 引火性の高い液体及び蒸気。  
 H280 高压ガス: 熱すると爆発のおそれ。  
 H301 飲み込むと有毒。  
 H311 皮膚に接触すると有毒。  
 H319 強い眼刺激。  
 H331 吸入すると有毒。  
 H332 吸入すると有害。  
 H335 呼吸器への刺激のおそれ。  
 H336 眠気又はめまいのおそれ。  
 H370 臓器への障害。  
 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

## UFR UNIVERSAL FLUX REMOVER, AEROSOL

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をするものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。